



# 教育行政執行方針

詳細 教育部総務企画課 ☎(32)6739

苦小牧市教育委員会は、「未来の社会をつくるひとづくりに」という本市教育の基本理念に基づき、教育の二層の振興と充実に向けて、教育行政を推進します。



市長 五十嵐 充

## 方針① 一人一人のニーズに応じた確かな学力をばぐむ教育活動の充実

**1 小・中学校の一貫・連携した指導の推進**  
苦小牧型小中連携教育「苦小牧A.L.E.R.」に基づき、中学校区で目指す子ども像に向かう具体的な取り組みを推進します。  
また、「義務教育学校」の設置を検討します。

**2 基礎学力の確実な定着**  
全国学力・学習状況調査などの結果を分析し、授業改善を推進します。  
また、専科教員の活用や習熟度別授業など、個々の学習状況に応じた指導の充実を図ります。

**3 ICTの活用促進**  
タブレット型学習用端末などを活用し、個別最適な学びの実現を図ります。また、活用事例の情報提供やモデル授業の公開などに取り組みます。

**4 外国語教育の充実**  
小・中学校における学習活動のほか、異文化理解の促進などの環境づくりに努めます。  
A.L.E.T.を効果的に配置するほか、ナナカマド教室に派遣するなど、広く英語に触れる環境整備を進めます。

**5 特別支援教育の充実**  
一人一人の特性に応じた指導を行えるよう、指導力の向上に努めます。また、福祉機関との連携を進めるとともに、北海道苦小牧支援学校との合同研修会を実施するなど連携を強化します。

**6 教職員の資質向上**  
学習指導の徹底などの研修講座を対面とオンラインを併用して実施します。また、教育先進地を視察し結果を各学校と共有します。

## 方針② 豊かな人間性と健康な体の育成

**7 道徳教育の推進**  
考え、議論する道徳の授業となるよう改善に努めるとともに、実践事例の周知に取り組みます。  
また、命の大切さや多様な性について考えるなど指導の充実を図ります。

**8 体力・運動能力の向上**  
「心と体の育成プラン」に基づく取り組みを進めます。また、効果的な指導の実践例を周知、普及します。

**9 健康教育の充実**  
規則正しい生活習慣の習得や性に関する保健教育を推進します。  
また、新型コロナウイルス感染症対策を継続するとともに、偏見や差別のない環境づくりに努めます。

**10 食育の推進**  
正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるため、積極的に食育に取り組みます。また、食物アレルギー対応食の拡大を図ります。

**11 不登校児童・生徒への支援の充実**  
未然防止の観点から、不登校対策モデル校の校内体制を構築し、支援・対応の在り方について引き続き調査・研究します。  
また、早期対応の観点から、学校適応指導教室の活用などにより支援を充実させ、不登校児童・生徒を学校復帰につなげます。

**12 いじめ防止の取組の充実**  
日常の観察や教育相談、定期的なアンケートの実施などにより、いじめの早期発見・対応に努めます。また、「いじめ問題子どもサミット」を開催し、各学

## 方針③ 学校・家庭・地域社会が連携した信頼される学校づくりの推進

**14 地域とともにある学校づくり**  
コミュニティ・スクールを導入している勇払中学校区および開成中学校区において、地域とともに環境の充実を図り、活動実績などの他校への情報発信に努めます。

**15 学校における働き方改革**  
教職員が本来担うべき業務に専念できる環境の整備に努めます。また、部活動指導員の配置を継続して実施します。  
さらに、教員の魅力を伝えるため市内小・中学校でのインターシフト受け入れを促進します。

**16 安全・安心な学校施設の整備**  
樽前小学校の改築事業などを進め、学校施設の安全確保を図ります。また、ウトナイ小学校の増築事業や各校の改修工事を計画的に行い、学習環境の向上に努めます。

**17 学校規模適正化の推進**  
ウトナイ小学校の狭あい化や植苗地区、勇払地区における各学校の在り方についてなど対応を検討し、望ましい教育環境の整備を推進します。

**18 幼児教育との連携**  
幼児教育と小学校との学びを円滑に接続するため、取り組みを推進します。  
また、要請に応じて幼稚園などへA.L.E.T.を派遣し、外国語に興味関心を持つ契機となる取り組みを進めます。

**19 読書活動の充実**  
学校図書館の利用促進や蔵書の充実を図るとともに、中学校への学校司書の配置拡大について引き続き検討します。

## 方針④ 家庭・地域で子どもを育てる環境づくりの推進

**20 就学支援の充実**  
就学援助制度の活用を促進するほか、関係部署との連携により、困り感のある児童・生徒の早期把握に努めるなど適切な支援を行います。  
また、引き続き3人目以降の児童・生徒の学校給食費を助成します。

**21 地域の教育力を生かした環境づくり**  
各学校において、地域資源を活用した特色ある取り組みを推進します。  
また、「苦小牧市通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路の安全確保に努めます。

**22 防災教育の充実**  
「苦小牧市学校防災マニュアル」に基づき、外部講師を招いた体験的な学習などを行い、児童・生徒が主体的に行動できる取り組みを進めます。

**23 環境教育の充実**  
「持続可能な社会」や「ゼロカーボンシティ」の実現を目指して、環境や自然を大切にする心などを育成できるよう取り組みを推進します。

**24 生涯学習の充実**  
「生涯学習だより」による情報提供など、市民・企業・学校の支援を図り、地域との協力体制を維持します。  
また、「ナナカマド教室」など継続事業のほか、小学1年生に本を贈る「セカンドブック事業」に取り組めます。

**25 美術博物館**  
特別展は「芸術の都ウィーンとデザインの流れ」と「横須賀美術館所蔵 谷内六郎展」、企画展は「アイヌ文化に関する展示など」を行います。

**26 科学センター**  
科学展示のほか、天文普及、科学体験事業を継続して実施し、生涯にわたり科学を学べる施設として機能充実に努めます。  
**27 文化芸術活動の推進**  
「PMFオーケストラ演奏会」などの鑑賞事業と、「演奏クリニク」などの支援事業を合わせた「苦小牧音楽祭」を実施します。また、演劇の公演など文化芸術に親しめる機会を拡充します。